

投資・ビジネス・人生における「選択」の哲学

利確の本質

最難関のアクション——
引く力と手放す力が、人生を決める





すべては「選択」と「決断」の連続である 連続である

損切り
(Loss Cut)

単なるテクニックではない。
これは「在り方」を問う二大要素である。

利確
(Profit Take)

利確
(Loss Take)

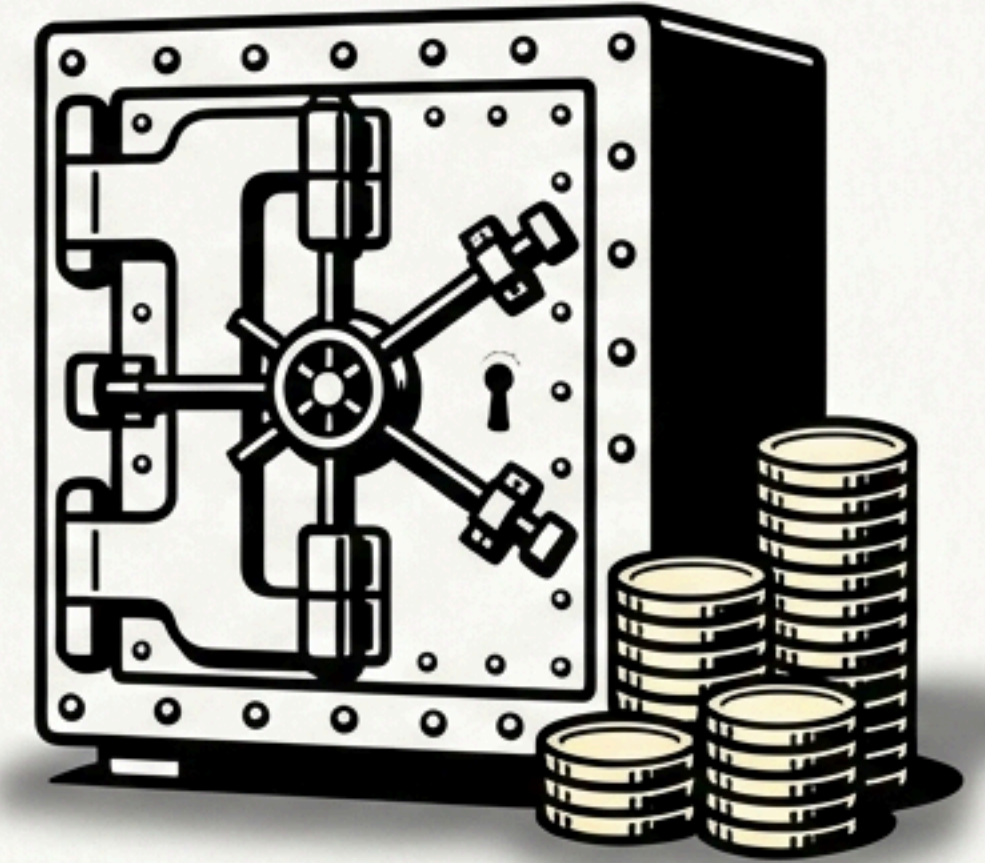
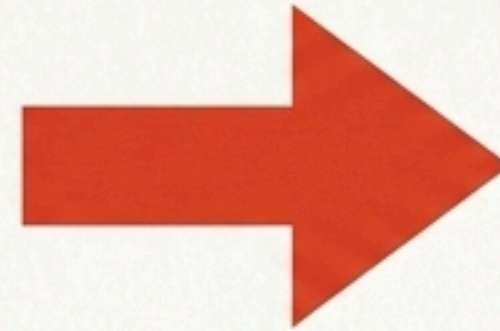


投資、ビジネス、そして人生。その先には必ずこの二つが存在する。



含み益は、まだ「幻」である

+15%
+300,000
+8.4%
+1.2%
+50%



数字であって、現実ではない。

出金して初めて、価値として確定する。

利確とは、利益を「現実」に変える唯一の行為である。

「満タンを取りにいく思考」は必ず崩れる

「頭と尻尾はくれてやれ」

× もう少しで最大だ

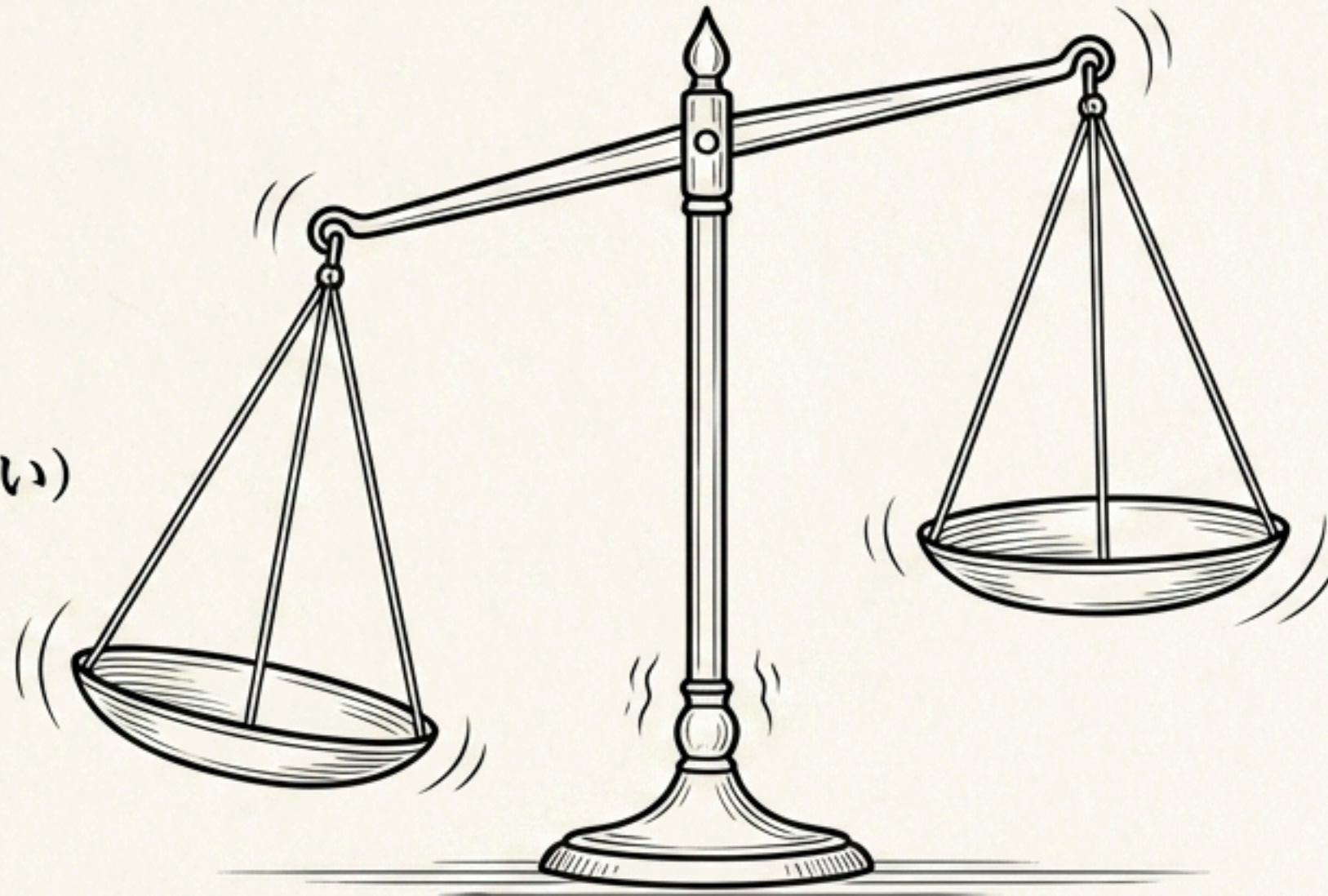
× まだ伸びる

× まだいける

すべてを取りにいこうとするチキンレースの結末は一つ。「ドボン」である。腹八分目、爪を伸ばさないことが鉄則。

なぜ「利確」が最も難しいのか？

欲
(もっと増やしたい)



執着
(機会を逃したくない)

この二つの思考が同時に働くため、人は葛藤する。

期待と現実のズレが、判断を鈍らせる最大の要因である。

損切りと利確の本質的な違い

	損切り (Loss Cut)	利確 (Profit Take)
状態	減っている・間違っている	増えている・正しいかもしれない
心理	認識しやすい (引きやすい)	迷いが生じる (罠に陥る)
TAOISM的解釈	「守る力」	「手放す力」

利益を確定するとは、
「未来の可能性を手放すこと」である。

利確を可能にする「4つの基準」

壹

壹・原点に戻る

貳

貳・区切りを決める

参

参・欲を整える

肆

肆・言葉を理解する

基準なき利確は、ただの運に過ぎない。



迷いをなくすための事前準備

壱. 原点に戻る（目的の明確化）

- ✓ なぜこの投資をしたのか
- ✓ 何を取りにいったのか
- ✓ どこで終わると決めたのか

目的が曖昧だと、利確は実行できない。

弐. 区切りを決める（ルールの設定）

- ✓ 価格の到達点
- ✓ 期間（タイムリミット）
- ✓ 達成条件のクリア

事前に決めておくことで、迷いを削ぎ落とす。



欲を抑え、感覚を研ぎ澄ます



弐. 欲を整える

「腹八分目」で終える。

一度の最大利益より、長期の安定（再現性）を取る。

壺. 言葉を理解する

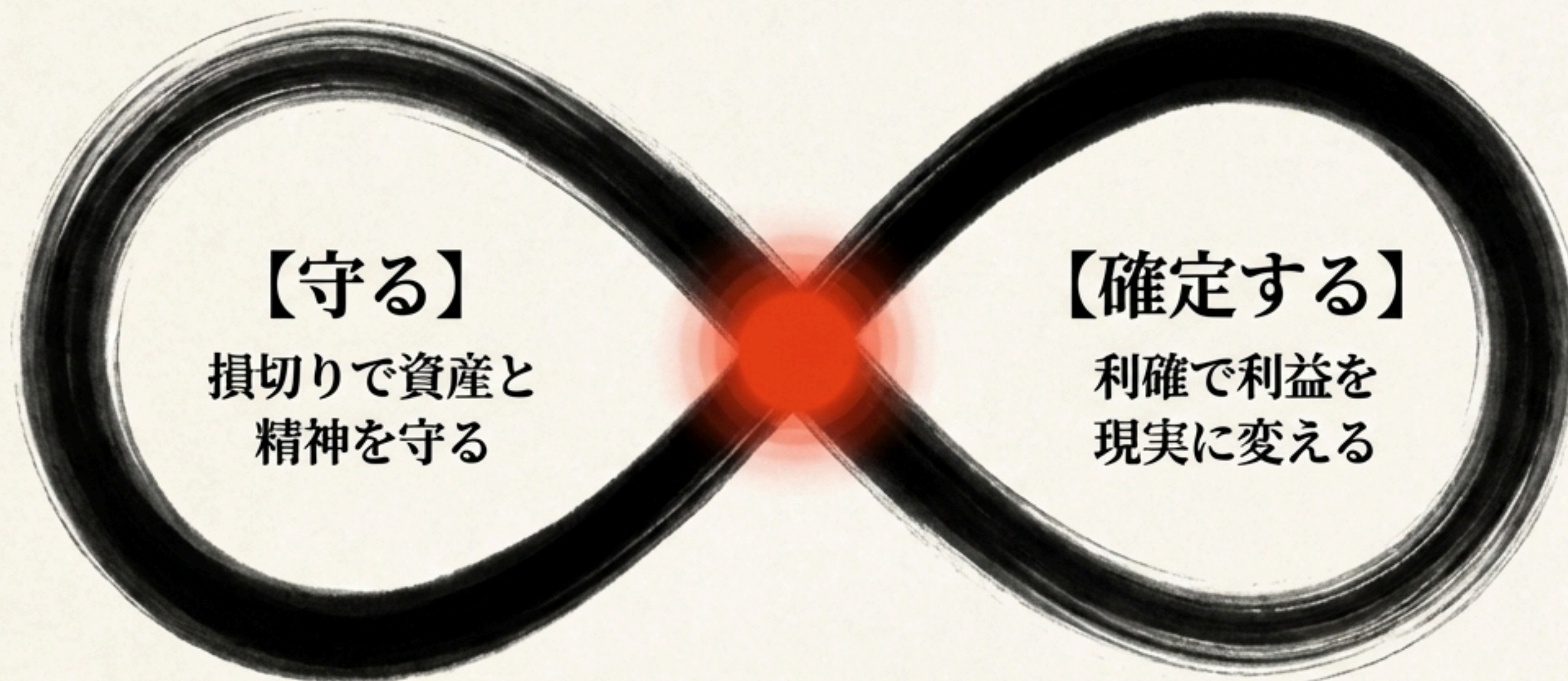
「まだはもうなり、
もうはまだなり」

相場の格言を知識ではなく、身体感覚として持つこと。

自分は、握りすぎていないだろうか。

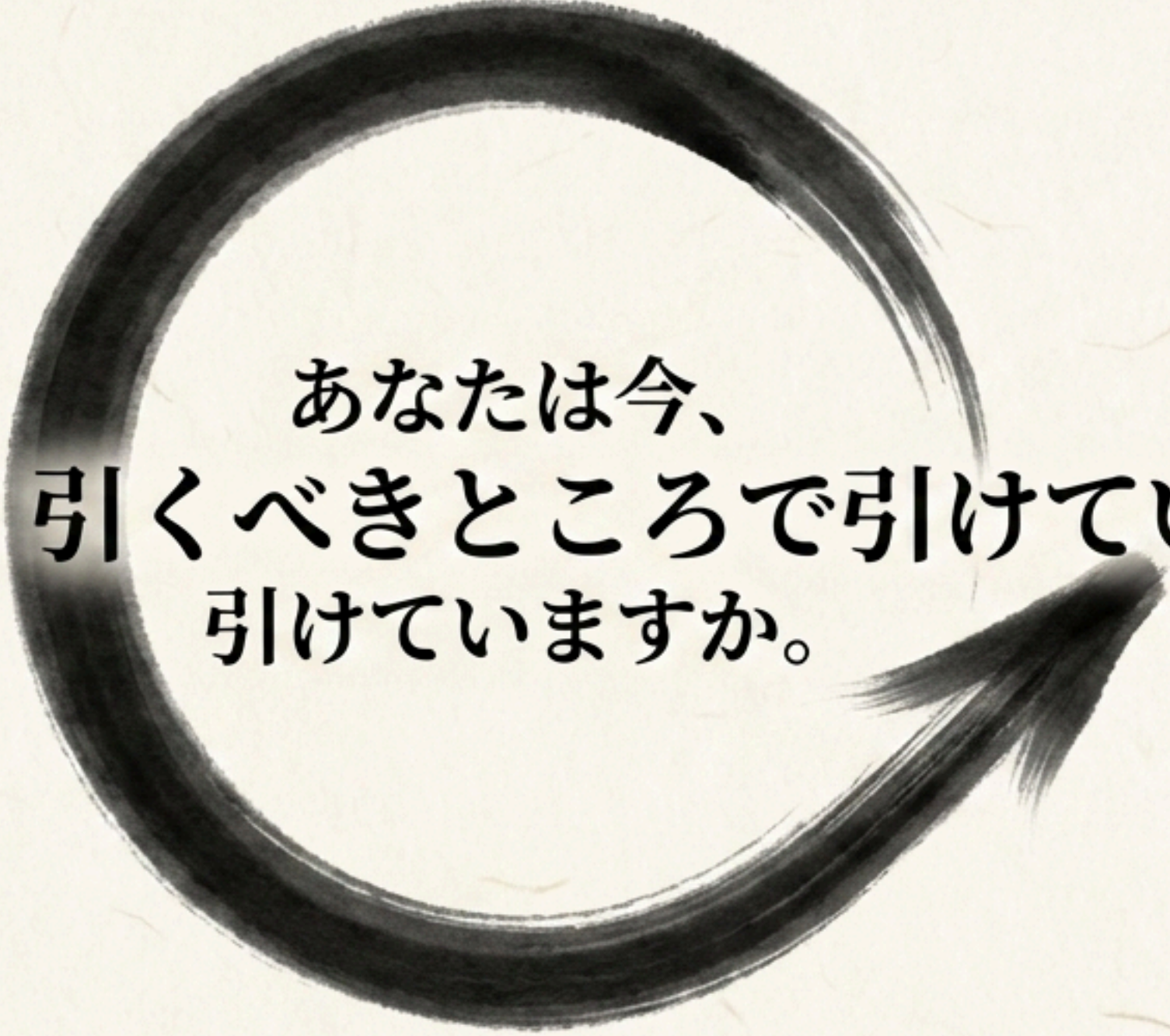
利益が出ているのに、手放せなくなっていないか。
うまくいっている時ほど、人は慢心し、判断が遅れる。
その「まだ」が、最大の損失を生む。常に問い続けよ。
これは取るべき利益か、欲に引っ張られているだけか。

TAOISMは「整える」思想である



欲を整え、判断を整え、タイミングを整える。
この循環が機能したとき、人生は安定し始める。
利確とは「終わり」ではなく、次の機会へ繋ぐための選択である。

本当の意味での勝ち方



あなたは今、
あなたは今、引くべきところで引けていますか。
引けていますか。

本質を見抜き、理屈を理解し、徳を磨き、共同体と共に歩む。

— TAOISM

